



南条っ子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び、豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

令和6年9月10日発行

第4号



「実りの秋」に向けて

2学期が始まって10日がたちました。残暑に負けず、元気に学校生活を送る南条っ子の姿からパワーをもらえます。

2学期は、1年で最も長い学期です。学校や学年の大きな行事がたくさん待っています。6年生の修学旅行(10/24~25)、5年生の自然教室(9/26~27)、1~4年生では、それぞれに遠足や校外学習も予定されています。学校を出て、身近な地域や豊かな自然、広い社会という環境の中で、これまでの学びを発揮する時です。2学期も目標(めあて)をもって、まずは普段の学校生活を大事にしてほしいと願っています。そして、すべての学年の、どの活動・行事にも共通しているのが、「みんなで仲良くする」ということです。好き嫌いや気分左右されることなく、だれとでも話をして、力を合わせて成功させましょう。



暑く厳しい夏を乗り越えて、田んぼの稲はおいしいお米を実らせています。南条っ子の「実りの秋」もすぐそこまできています。

○ 夏休みの成果をたたえ合いましょう

夏休み作品展(9/9~9/13)

南条っ子の夏休みの作品が中ホールに展示されています。絵画、工作、理科研究など豊富なジャンルの作品が並んでいます。夏休みだからこそ、納得いくまでじっくりと取り組んだことがわかる作品が多くあります。また、おうちの方からアイデアをもらったり、作り方(進め方)や仕上げ方などについて教えてもらったりすることができた作品も多いようです。

子どもたちは自分や友だちの作品の良さについて話をしながら、楽しそうに鑑賞しています。どの作品も、その子を表す世界で一つの価値ある作品です。保護者のみなさまも、ぜひご覧ください。ご来校をお待ちしています。



※平日8:00~18:00、13日(金)のみ13:25まで

○ 南条っ子の「学習」や「生活」の様子は…

全国学力・学習状況調査（6年生対象）、児童質問調査（全校対象）より

学校では、児童の学習や生活の状況を把握し、指導の改善につなげるために、年間を通して、国や県、学校独自の調査やアンケートを実施しています。今回は、上記の結果より次のことを本校の主な成果と課題ととらえ、今後の教育活動に反映させていきたいと考えています。

<成果>

- ・国語・算数ともに基礎・基本の内容（例：国語…説明している部分を選ぶなど算数…計算、グラフから割合を読み取るなど）についてはほぼ習得されている。
- ・学校におけるタブレットを用いた学習について効果的に行われている。
- ・自分に良いところがあり、友だちや先生にも認めてもらえ、学校は楽しいと感じている児童が多い。

<課題>

- ・条件を満たして書いたり、説明したりする力を習得させたい。
- ・問題に対して最後まで粘り強く取り組む姿勢を身に付けたい。
- ・学習に必要な用具と気持ちの準備をいつもできるようにしたい。
- ・家庭におけるメディア（主にタブレット）の利用は、学習への利用の可能性を含めて、保護者と共通理解を図りたい。



教職員は担当の学年・学級の傾向を分析し、具体的な取り組みにつなげていきます。何より、一人一人の児童に対して丁寧な指導を心がけます。

○ 「読書の秋」を充実させましょう

3日（火）から、ブックマさん（図書ボランティアの方々）の読み聞かせと紙芝居が再開されています。その日の担当のお一人にお話をうかがい、本の内容や学年に合わせた読み方を工夫すること、子どもたちがリラックスして聞けるようにストレッチなどを取り入れることがあること（この日は、ブックマさんの優しい歌声付きでした。）、読み終えた後の余韻を味わってもらいたいことなどを教えていただきました。子どもたちのためにいろいろと考えてくださっていることがうれしいです。

保護者のみなさまには、夏休みの「親子読書」をはじめ、日々のお子様の読書活動推進へのご協力をありがとうございます。



夜には鈴虫の声が響くようになり、季節の変化を感じます。

さて、ご協力いただいたPTA活動「一筆啓上・わが家の三原則」の作品からは、書き手の思いやり、ちょっと不安な気持ちも含めた希望、期待、感謝が伝わります。「親子」という関係を、この我が子と結ぶことができたこと、なんと幸せなことでしょう。「毎日いろいろなことが起こり、それどころではない」というお声も聞こえてきそうですが、それも含めてうらやましい限りです。

